

## CONTENTS 5・6月 ALL 40PAGES

### PAGE 02

#### 協会NOW

##### 新年度の挨拶

(一社)新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤幸示



### PAGE 03-06

2026年2/26 新潟東映ホテルにて

業務部主催「健康づくり推進セミナー」開催  
当日のプログラムとセミナーレポート



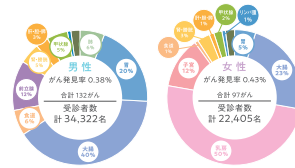
### PAGE 07-16

〈特集〉健康づくり推進セミナーの講演から  
労働生産性を高める健康的な「睡眠」とは  
国立病院機構西新潟中央病院 病院長 大平徹郎



### PAGE 17-24

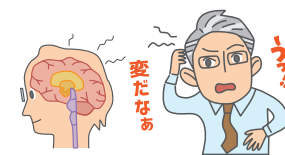
医学協会の確かな安心〈シリーズVol.45〉  
2024年度最新データによる  
医学協会の人間ドック・がん検診の結果と  
新規オプション検査の解説



### PAGE 25-28

#### 検査部通信SPECIAL

心疾患や脳血管疾患などを予防する  
新検査が登場!「LOX—index®検査」



### PAGE 29-36

2026年 医学協会の健康経営への取り組み  
3/9 新潟ウェルネス1Fセミナーホールにて  
岩室リハビリテーション病院理学療法士による  
「女性のライフステージと健康」を開催

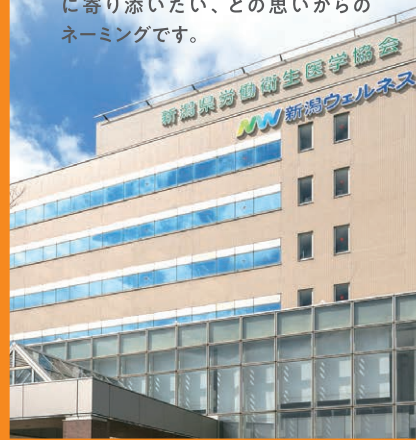


### PAGE 37-38

表紙の写真「長岡市・雪国植物園  
緑豊かな里山で花開く山野草の女王ヤマユリ」  
編集者からのメッセージ



医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well(健康な)」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけでなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、ベストな健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ(あるいは、改善のために積極的に活用)に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



## TRIM vol.276 TOPICS

今号では、今年の2月から3月にかけて医学協会が開催したセミナーからぜひ、皆様にお読みいただきたい充実した内容の3講演を特集しました。

まずは、大平Dr.の「労働生産性を高める健康的な睡眠とは」に始まり、当会業務部長による「人間ドック・がん検診の結果と新規オプション検査の解説」、そして最後は、岩室リハビリテーション病院理学療法士の「女性のライフステージと健康」です。

どの講演もご自身の生活習慣を見直し、今やれることを少しでも始めてみようか、試してみても良いな、と前向きに思える内容です。お読みになり、日々の生活改善の参考にしていただければと願っています。

## 新たな目標に向けて

(一社)新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤幸示



昨年、日本で初めての女性総理大臣が誕生しました。その高市早苗内閣が発足してから早半年、「責任ある積極財政」のスローガンのもと、次々と新たな政策を打ち出しています。

その間、中国問題やイラン戦争と、高市首相にとっては想定外と思える難題が降りかかっていますが、しっかりと対処されているように思えます。それを裏付けるかのように、株式市場では歴代最高値を更新し続けています。高市首相もひるむことなく、このまま突き進んで行っていただきたいものです。

さて、当会では今年度の第1の目標として、「検査時間の短縮」を掲げます。健康診断・人間ドックを受診された方々からのアン

ケートの中で、一番ご意見をいただいておりますのが、検査の流れをスムーズにしてほしい、短縮して欲しいとのご要望です。新しい健診スクエアの2施設では、タブレット端末による新たな案内誘導システムの導入にともない、スムーズになった、検査時間が短くなった、との報告が多く届いております。他の施設においても順次新しいシステムを導入し、「検査時間の短縮」に取り組んでまいります。

第2の目標は皆様方の「健康寿命を延ばす」(ウェルビーイング:Well-Being)ためのサポートの充実です。病気に対する早期発見、早期治療に貢献することはもちろんですが、超高齢化社会を迎えている我が国においては、病気がないだけでなく、健やかに老いることの重要性にも、目を向けなければなりません。

ロコモティブシンドロームという言葉があります。これは運動器の障害によって、立つ、歩くという移動機能の低下をきたした状態を示しています。これが高じると、転倒、骨折、認知症、要介護、入院など、いわゆるフレイルという状態に行き着いてしまいます。

当会では2年前から人間ドック時の体力測定を変更し、ウェルビーイングチェックを導入、体力年齢に加えてフィジカルスコアやロコモ度もお知らせしています。今年度からは、労働安全衛生法の改正にともない、高齢者の労働災害防止の推進が求められていますことから、50歳以上を対象としたウェルビーイング健診を新たに健診メニューに組み込み、社会のニーズに応えていきたいと考えます。

これからも労働衛生医学協会の名の通り、働く人を労わり(労働)、生命を衛(衛生)健診機関として、確かな安心をお届けし、皆様からのご信頼にしっかりと応えできる体制を整えてまいりますことをお誓いして、新年度の挨拶といたします。